



静岡県文化プログラム スペシャルトーク 2
Advanced Program for Arts and Culture SHIZUOKA "Special Talk" 2

ADVANCED PROGRAM FOR
ARTS AND CULTURE
SHIZUOKA



芸術はA楽しい!!

ゲスト

清水華澄、しりあがり寿

オペラ歌手

ホスト

宮城聡

演出家、静岡県舞台芸術センター芸術総監督

漫画家

オペラ歌手と漫画家が語る舞台裏

2018年3月10日(土) 14:00開演 (受付開始13:00 開場13:30)

第1部 清水華澄 ミニ・リサイタル

- ・ビゼー作曲『カルメン』より“ハバネラ”
 - ・アルマ・マラー作曲『5つの歌曲』より“父の庭に”
 - ・ストラヴィンスキー作曲『エディプス王』より“恥と思わぬか、王子たち”ほか
- ※演奏曲は都合により変更する場合がございます。

第2部 スペシャルトーク

会場 静岡芸術劇場 (グランシップ内)

清水華澄 + しりあがり寿 & 宮城聡 芸術は楽しい!!

～オペラ歌手と漫画家が語る舞台裏～

16世紀末にイタリアで生まれたといわれるオペラ。日本では、今から約120年前の19世紀終わりに初めて上演されました。現在、日本各地で様々なオペラが上演され、世界の劇場で活躍する日本人の歌い手も数多く見られるようになってきました。

でも、オペラって何でしょうか？ 音楽？ 演劇？ 美術？ 文学？ それとも…？

そう、オペラは、様々な芸術の要素が、お互いにその魅力を発揮することでさらに輝きを増す、総合的な芸術ということが出来ます（日本の歌舞伎にもそういう要素がありますね）。

さて、オペラの舞台は本当に様々。愛、誇り、生の喜び、絶望、死、そして魂の救済…。それだけに、実は、オペラって突っ込みどころが満載です。まずは、聴きどころ満載のミニ・リサイタルでオペラの世界に足を踏み入れ、次は、聞きどころ満載のスペシャルトークで舞台裏をのぞいてみましょうか。静岡ゆかりのアーティスト3人から、どんな話が飛び出するか、お楽しみ。

劇場を後にする頃には、きっと、「芸術は楽しい!!」って思いますよ。

2018年3月10日(土)

14:00開演 (受付開始13:00 / 開場13:30)

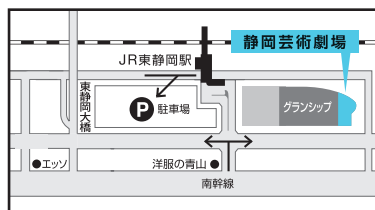
第1部 清水華澄 ミニ・リサイタル

- ・ビゼー作曲『カルメン』より“ハバネラ”
- ・アルマ・マラー作曲『5つの歌曲』より“父の庭に”
- ・ストラヴィンスキー作曲『エディプス王』より“恥と思わぬか、王子たち”ほか

※演奏曲は都合により変更する場合がございます。

第2部 スペシャルトーク

会場 静岡芸術劇場 (グランシップ内)

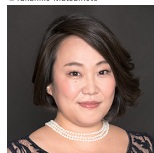


静岡芸術劇場へのアクセス

(静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1)

JR「東静岡駅」南口から徒歩約5分。グランシップの東側(清水寄り)に入口があります。※会場に有料駐車場はありますが、催事によって満車となる場合がありますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

©Takahiko Matsumoto



清水華澄 (しみず・かすみ)

オペラ歌手 (メゾ・ソプラノ)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびロームミュージックファンデーション在外音楽研究員として渡伊。留学中、ウィーン・バーデン市立劇場『こうもり』に出演。新国立劇場『チェレントラ』ティーズベ、『オテロ』エミリア、東京二期会『仮面舞踏会』ウルリカ、『ナブッコ』フェネーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントゥツァ、『ドン・カルロ』エボリ公女、『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、日生劇場『メデア』ゴラ、『アイナダマル』ロルカ、『ルサルカ』イェジババ等に出演。コンサートでは、マラー『復活』『千人の交響曲』、ヴェルディ『レクイエム』、『第九』等のソリスト。「NHKニューイヤーオペラコンサート」にも出演している。二期会会員。



しりあがり寿 (しりあがり・ことぶき)

漫画家

1958年静岡市生まれ。1981年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後キリンビール株式会社に入社し、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当。1985年単行本『エレキな春』で漫画家としてデビュー。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。1994年独立後は、幻想的あるいは文学的な作品など次々に発表。新聞の風刺4コママンガから長編ストーリーマンガ、アンダーグラウンドマンガなど様々なジャンルで独自の活動を続ける一方、近年では映像、アートなどマンガ以外の多方面に創作の幅を広げている。2014年、春の叙勲で紫綬褒章を受章。主な作品に、『流星課長』『ヒゲのOL 飯内笹子』『地球防衛家のヒトビト』『コイツモレ先生』『方舟』『あの日からのマンガ』『ゆるめ〜しょんシリーズ(アニメ作品)』他。

©ATARASHI Ryota



宮城聡 (みやぎ・さとし)

演出家 / SPAC-静岡県舞台芸術センター 芸術総監督

1959年東京生まれ。東京大学で小田島雄志・渡辺守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自らの上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘。「世界を見る窓」としての劇場づくりに力を注いでいる。14年7月アヴィニオン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メディア』『ペール・ギュント』など。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。



越知晴子 (おち・はるこ)

ピアニ

京都市出身。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ロームミュージックファンデーションから助成を受け渡独。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。同大学講師を経て帰国。第7回Josef Suder国際歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞。Kissinger sommer国際音楽祭、仙台クラシックフェスティバル等数多くの演奏会に出演。またバイエルンラジオ放送、NHK-FM、NHKテレビ番組でも演奏する。現在新国立劇場、関西二期会、ザ・カレッジ・オペラハウス等で音楽スタッフを務める。京都市立芸術大学非常勤講師。

お申し込み方法 氏名・電話番号・住所・メールアドレス (お持ちの場合) を記載の上、下記いずれかの方法でお申し込みください。

☞ 静岡県文化プログラム推進委員会「スペシャルトーク②係」

E-mail: s_talk2@shizuoka-ac.org

FAX: 054-273-8183

往復はがき: 〒420-0035 静岡市葵区七間町5-8 ミライエ七間町2階

申込締切 3月6日(火) ※往復はがきは、消印有効 **定員** 先着250人 (定員に達した時点で受付を終了します)

お問い合わせ 静岡県文化プログラム推進委員会 TEL: 054-273-8181 (9:00~18:00 / 平日のみ)



静岡県文化プログラム

オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけの祭典ではありません。オリンピック憲章では、「オリンピックはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するもの」とうたわれ、競技大会の組織委員会が「文化プログラム」を実施することが定められています。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた文化プログラムは、スポーツ競技が行われる地域だけでなく、日本全国で開催されることになっており、静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。